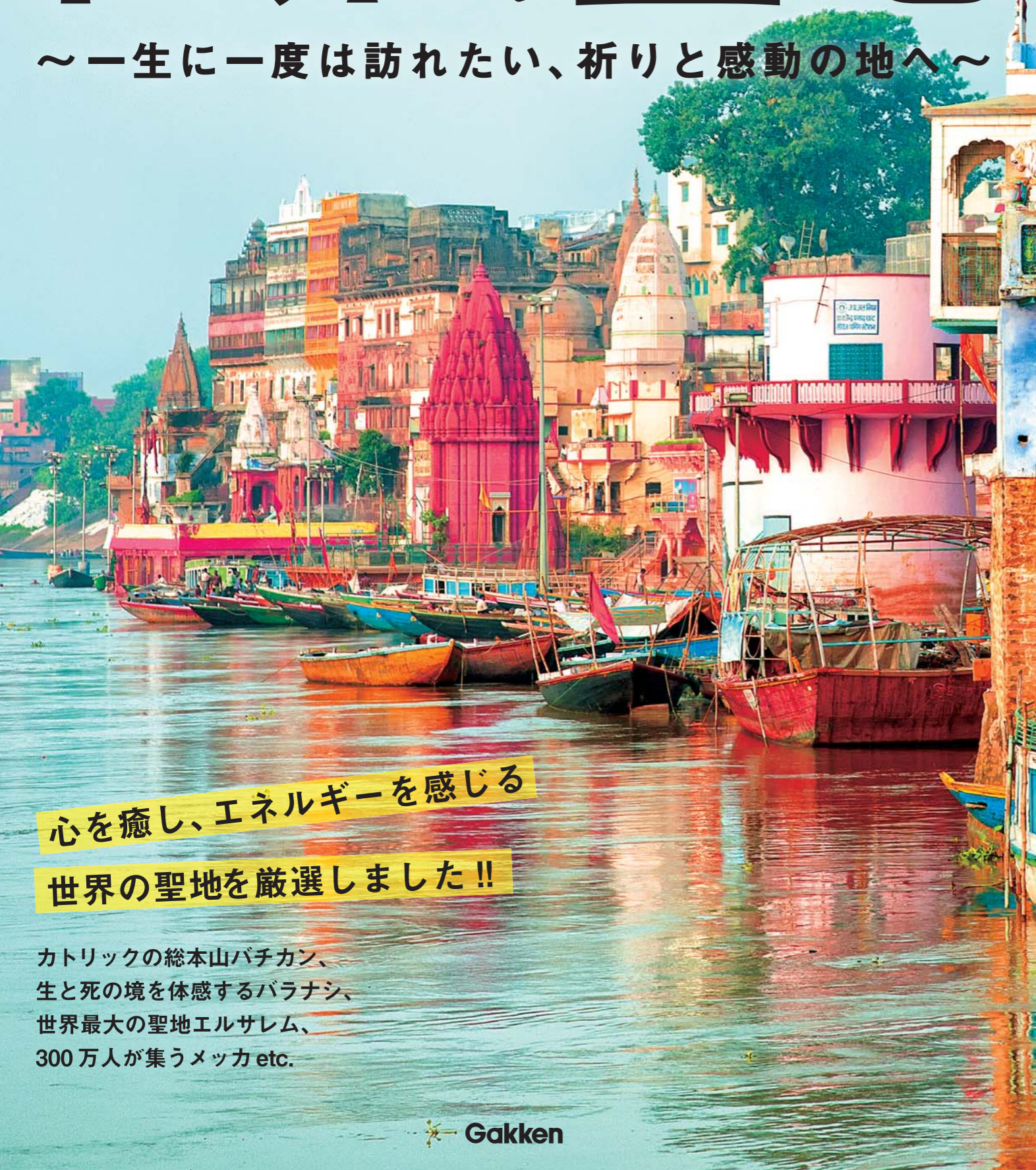


★ THE WORLD SACRED PLACE ★

# 世界の聖地

～一生に一度は訪れたい、祈りと感動の地へ～



心を癒し、エネルギーを感じる

世界の聖地を厳選しました!!

カトリックの総本山バチカン、  
生と死の境を体感するバラナシ、  
世界最大の聖地エルサレム、  
300万人が集うメッカ etc.

## ヒンドゥー教&イスラム教の聖地 044

column 3	ヒンドゥー教&イスラム教の基本	046
01	ガンゴートリー /インド	047
02	ジャガンナート寺院 /インド	047
03	バラナシ /インド	048
04	メッカ /サウジアラビア	052
05	メディナ /サウジアラビア	054
column 4	そのほかの宗教の聖地	055

## 複数の宗教の聖地 056

01	エルサレム /イスラエル/パレスチナ	058
02	シナイ山 /エジプト	062
03	エローラ石窟群 /インド	063
04	ブッダガヤ /インド	064
05	カイラス山 /中国	064
06	黄龍 /中国	065
07	懸空寺 /中国	066
08	カトマンズの谷 /ネパール	068

## 古代信仰の聖地 070

01	ストーンヘンジ /イギリス	072
02	パルテノン神殿 /ギリシャ	074
03	デルフィ /ギリシャ	075
04	デロス島 /ギリシャ	075
05	テオティワカン /メキシコ	076
06	マチュ・ピチュ /ペルー	078
07	アブ・シンベル神殿 /エジプト	080
08	テーベ /エジプト	082

## 自然崇拝の聖地 084

01	セドナ /アメリカ	086
02	モニュメント・バレー /アメリカ	090
03	ブラックヒルズ /アメリカ	092
04	マウント・シヤスタ /アメリカ	092
05	チチカカ湖 /ボリビア/ペルー	093
06	ウルル /オーストラリア	094
07	バンダラ・バンダラ /オーストラリア	094
column 5	日本の聖地	095

バチカンのサン・ピエトロ広場を囲む列柱廊。



# Contents

The World Map of Sacred Place	002
-------------------------------	-----

## キリスト教の聖地 004

column 1	キリスト教の基本	006
01	バチカン /バチカン市国	008
02	アッジジ /イタリア	012
03	ル・ピュイ /フランス	014
04	ルルド /フランス	015
05	モン・サン・ミシエル /フランス	016
06	サンティアゴ・デ・コンポステーラ /スペイン	018
07	アトス山 /ギリシャ	022
08	メテオラ /ギリシャ	024
09	ケルン大聖堂 /ドイツ	026
10	グラストンベリー /イギリス	027
11	トロイツェ・セルギエフ大修道院 /ロシア	027
12	カッパドキア /トルコ	028
13	ラリベラの岩窟教会群 /エチオピア	029

## 仏教の聖地 030

column 2	仏教の基本	032
01	バガン /ミャンマー	034
02	チャイティーヨー・パゴダ /ミャンマー	036
03	アジャンター石窟群 /インド	037
04	ボロブドゥル寺院 /インドネシア	038
05	アンコール・ワット /カンボジア	040
06	莫高窟 /中国	042
07	五台山 /中国	042
08	ポタラ宮 /中国	043



# 01

## バチカン

世界一二億人の信徒を統べる  
カトリックの総本山

ローマ教皇庁が統治する世界最小の独立国であり、メッカ、エルサレムと並んで世界三大聖地の一つに数えられるカトリック教会の総本山。一九八四年に国土全域が世界遺産に登録されており、聖ペテロを祭るサン・ピエトロ大聖堂をはじめ、ルネサンスを代表する巨匠たちの装飾絵画で有名なシステリーナ礼拝堂やバチカン宮殿など、教会美術の宝庫としても知られる。

【バチカン市国】

### ACCESS



ローマ市内のテルミニ駅から地下鉄A線に乗り、最寄りのオッタヴィアーノ駅まで約10分、駅から徒歩約15分。

サン・ピエトロ大聖堂内部。ミケランジェロの設計といわれる高さ132.5m、直径42mの巨大なクーポラ（大円蓋）からは、日光が効果的に取り込まれる。





# CHRISTIANITY

世界一二人億人ともいわれる信徒を擁するカトリック教会の総本山バチカン。その名は、もともとこの地が「ウァティカヌスの丘」と呼ばれていたことに由来し、伝承によると、キリストの第一の弟子ペテロが激しい迫害の渦中にあつたローマで宣教し、六七年に皇帝ネロによって逆さ十字架にかけられ、この地で殉教したとされている。

実際にペテロの墓があつたかどうかは謎とされてきたが、発掘調査で大聖堂の地下一〇メートルからペテロと思われる男性の遺骨が見つかり、世界を驚かせた。

三二六年、キリスト教を公認したコンスタンティヌス一世により、のちにサン・ピエトロ(聖ペテロの意)大聖堂となる最初の教会堂がペテロの墓所の上に建てられた。その後、この地を拠点としたローマ司教たちは、教皇としてカトリック教会全体に影響力を強め、バチカンも発展した。

現在のサン・ピエトロ大聖堂は、一五〇六年の着工から約二二〇年の歳月をかけて当時の教会堂を建て替えたもので、設計の大部分はミケランジェロの手による。彼は建築家として起用された時にはすでに七一歳と高齢だったが、八八歳で亡くなるまで晩年の人生を大

## 聖ペテロが眠る聖なる場所



【上】サン・ピエトロ大聖堂の前に広がるサン・ピエトロ広場。ベルニーニの設計で、大聖堂の完成から41年後の1667年に完成した。【下/左】システリーナ礼拝堂の主祭壇に描かれたミケランジェロの「最後の審判」。1535年~1541年にかけて制作され、再臨したイエス・キリストが死者に裁きを下す様子が表現されているが、裸体が多すぎると儀典長に非難されたという。【下/右】荘厳な雰囲気になったサン・ピエトロ大聖堂内部。中央奥のクーボラの真下に鎮座するプロンズの天蓋(バルダッキノ)は、聖ペテロの墓の真上に位置する主祭壇を覆うために、1624年~1633年にかけてベルニーニによって制作された。



【上/左】サン・ピエトロ大聖堂の入り口近くに建つ聖ペテロの石像。【上/右】サン・ピエトロ大聖堂からサン・ピエトロ広場を望む。広場は4列計372本のドーリア式円柱による列柱廊で取り囲むようにデザインされており、中央に1世紀ごろにエジプトから運ばれたというオベリスク(記念柱)が建つ。【下/左】バチカン美術館の出入り口近くの二重らせん階段。ミケランジェロの設計といわれており、上りと下りが一体化している。【下/右】サン・ピエトロ大聖堂内にあるミケランジェロの代表作「ピエタ」。十字架から降ろされたキリストを抱く聖母マリアを表現した大理石像で、ミケランジェロ25歳の時の作。

## COLUMN 「世界最大級の美術館」

サン・ピエトロ大聖堂の北側に隣接するバチカン宮殿には、宮殿の大部分を占める巨大なバチカン美術館がある。総数20もの博物館、美術館、絵画館、図書館で構成された美術館群で、キリスト教美術以外に、古代ギリシャやアジア・アフリカなど、世界各地の民族美術も展示されている(写真は回廊の天井画)。その起源は、1503年に教皇に就任したユリウス2世が、自らが収集していた古代彫刻のコレクションを宮殿内の中庭に配置したことに始まる。以降、歴代のローマ教皇たちによって収集された各時代のコレクションを展示するため、美術館が次々と増設された。現在、展示コースは全長7kmにも及び、世界最大級の美術館となっている。

聖堂の建築にささげた。ローマ教皇を選出する会議「コンクラーヴェ」の開催されるシステリーナ礼拝堂は、一四八一年の竣工で、外観の大部分は建設当時のままである。簡素なれんが造りだが、室内は、ミケランジェロの傑作「最後の審判」をはじめ、ペルジーノやボッティチェリといったルネサンス期を代表する芸術家たちのフレスコ画で彩られている。



## 世界の聖地

～一生に一度は訪れたい、祈りと感動の地へ～

2013年8月23日 第1刷発行

企画・編集 教養実用出版事業室  
編集 EDing Corporation  
編集スタッフ 谷伸子・乙原優子・武井誠  
デザイン 谷伸子  
写真 Shutterstock  
木幡ちひろ

発行人 脳谷典利  
編集人 南條達也  
編集長 渡部義之  
発行所 株式会社 学研パブリッシング  
〒141-8412  
東京都品川区西五反田2-11-8  
発売元 株式会社 学研マーケティング  
〒141-8415  
東京都品川区西五反田2-11-8  
印刷所 凸版印刷株式会社

【この本に関するお問い合わせ先】

【電話の場合】

- 編集内容については  
03-6431-1511(編集部直通)
- 在庫、不良品(落丁、乱丁)については  
03-6431-1205(販売部直通)
- この本以外の学研商品に関するお問い合わせは  
03-6431-1002(学研お客様センター)

【文書の場合】

〒141-8418 東京都品川区西五反田2-11-8  
学研お客様センター『世界の聖地』係

© Gakken Publishing 2013 Printed in Japan

本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。  
本書を代行業者等の第三者に依頼して  
スキャンやデジタル化することは、  
たとえ個人や家庭内の利用であっても、  
著作権法上、認められておりません。  
複写(コピー)をご希望の場合は下記までご連絡ください。  
日本複製権センター <http://www.jrrc.or.jp>  
E-mail: [jrrc\\_info@jrrc.or.jp](mailto:jrrc_info@jrrc.or.jp) Tel.03-3401-2382  
☒<日本複製権センター委託出版物>

- 学研の書籍・雑誌についての  
新刊情報・詳細情報は下記をご覧ください。  
学研出版サイト <http://hon.gakken.jp/>